1. 付録

1.1. 「短歌 LINE」の全文スクリーンショット

実験で行われた「短歌 LINE」の全体スクリーンショットを、以下に図 1 として掲載した。

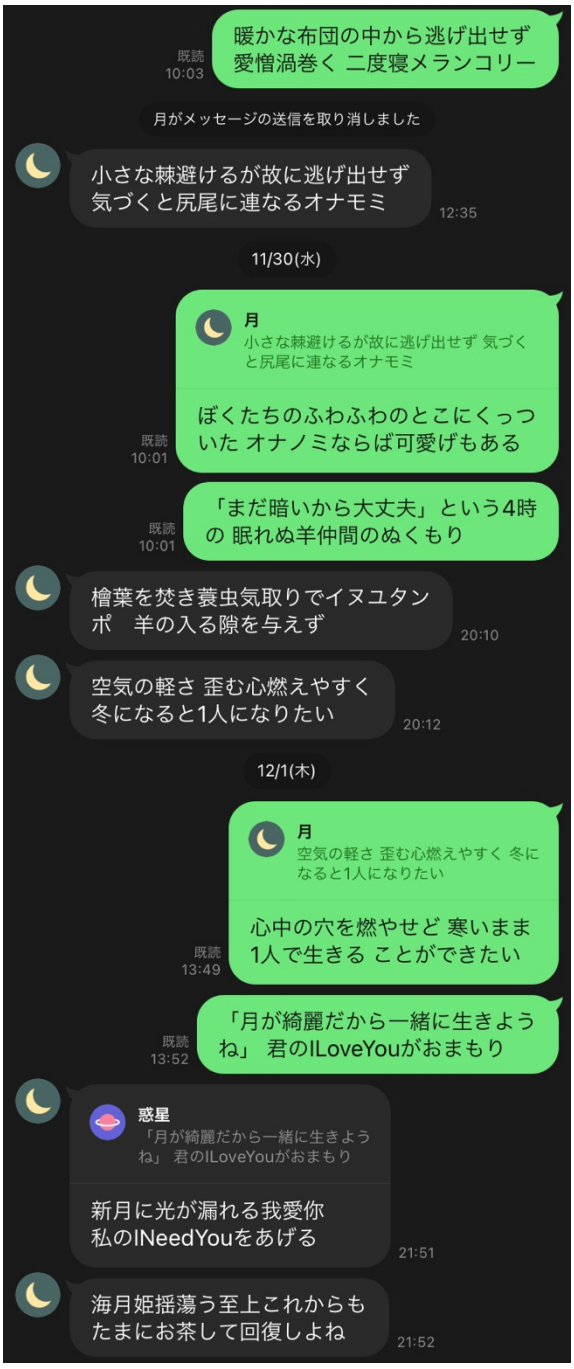


図 1. 「短歌 LINE」の全文スクリーンショット

1.2. 実験後インタビュー

実験後、実験協力者に対して行ったインタビューの全文を以下に掲載した。筆者の述べた文章については一部要約をしており、被験者の名前は匿名で記載している。

【A さん】

筆者

普段の LINE との違いは感じましたか？頻度とか、返信速度とか。

A

見るタイミングは、いつもと一緒なんだけど、考えてから送りたいから、返すのに 10 分ぐらいで、返信速度は下がったかな。その時に余裕がなかったら後で考えて送ろう、みたいな。

筆者

コミュニケーションとして短歌を使った会話の満足度とか、伝達度はどのくらいだと感じた？

A

満足度は、普段が 50 だとしたら、70 ぐらい。理由は、自分が言葉で何かを伝えるのが苦手だから、伝えるのが苦しい時があるんだけど、短歌だと「伝わらなさ」によさがあるみたいな感じがして。それに加えて、私は「ずとまよ」とか好きなんだけど、「ずとまよ」の歌詞って 1 mm もわかんないみたいな、好きな言葉を組み合わせて自分の世界を作ってる感じ?そういう世界観を自分で作れたのが嬉しかった。

筆者

わからなさってかわいいよね。

A

伝わってるかは、向こうの意図は分かんないけど、自分なりに解釈して。こっちも、伝える気はないけど、いいたいことを言おうみたいな。

筆者

うんうん。じゃあ、交換した短歌のなかで、自分のでも、相手のでも印象的だったものはある？

A

（筆者）の句は、せりふが最初に来るのが多いなと思った。短歌じゃなさそうなのに、読むと 57577 に収まってる感があるのが良かった。私はすぐ、動物を使っちゃうから、最初、動物縛りにしようとおもったんだけど、なんかつまんないなとも思った。あとは、ウォーアイニーとあいにーじゅーの韻踏みをどうしても使いたくて使ってみた。

筆者

あれ可愛かった。そういう、短歌の定型とか、詩的な表現とかがある中で言語化するのに、感じたこととかある？

A

「小さな」と「小さき」でもニュアンスが変わるし、それで最初送ったのが違うなと思って取り消したんだけど、そういう定型の中で質量のないものを大事にする感じがあって良かった。選びながら話せるのが良かった。

筆者

あとは、A って日記書いてるじゃん。そういうのって、あったことを全部そのまま言語化してる感じだと思うんだけど、それに比べて短歌ってどう？

A

日記は何も考えずに書ける感じ。私、続かないから、書くのが不定期でやりたい時しかやってないんだけど、短歌は短いからそれにかける時間が増えて、質が高いと思った。そういう世界をいっぱい作っとくと、自分が持ちたい言語の世界みたいなのが頻繁に出てきやすくなるのかなって感じだった。

筆者

そうだね。あとはなんだろう。普段の LINE との違い、さっきは頻度とか聞いたと思うんだ

けど、他に気づいたこととかある？

A

うーん。その人の LINE のトーク画面を開いてる長さは普段はないものだった。例えば、LINE 来て、保留してる時とかってずっとトーク画面を開いてるわけじゃないけど、短歌は自分ができたタイミングで送るって感じ。例えば、考えながら打ち込んだりって操作があるから、その間ずっとその人の LINE のトーク画面を開いてるなと思った。

筆者

たしかに。そういう保留してる時って、なんとなく急かされてる感じしたりするよね。あとは、なんだろうなあ。相手が「何を話してるんだろう」って考えるってよりも、それを受けて自分の中に浮かんだものを考える比重の方が高かった？

A

そうだね。1 日目は結構、汲み取ろうとか、気持ちを想像しようみたいなのがあったんだけど、途中からは、来たのに返すっていうよりも、自分のこととして変換できるかを考えることの方が多かった。気持ちを想像しようっていうよりかは、なんとなくで汲み取って、それに対して私はこういう意見です、みたいな。

筆者

そうやって、一つの短歌を時間かけて作る中で、自分の思ってることへの気づきとかってあった？

A

自分の考えとかを短歌で送るっていうのをやったじゃん。色々考えた時に、ねてる話とか、犬が好きとか、1 人でいるのが好きみたいなことしか出てこなくて、自分の持ってる世界観？大事にしたい思ってることが、少ないかもと思った。自分がもっとこだわりが強い人だと思ってた。